

平成24年度事業報告

特定非営利活動法人 子育てネットゆめもくば

事業内容

総会	平成24年6月17日(日) 定期総会 場所 キッズプラザひがしひろしまゆめもくば 茶話会 ゲスト ブロガー:松本理絵さん「家具屋の女房、子育てしながら…」
理事会	平成24年5月25日(金)、11月22日(木)
執行理事会	4/13、5/17、6/14、7/9、9/4、10/9、10/23、11/14、12/26、2/5、3/18(11回)
地域子育て支援拠点事業(ひろば型)	(1)ひろば事業 0.1.2歳のつどいの場(月～土 10:00～15:00 ただし原則第1・3木曜と第2・4土曜を除く) 日数:262日 延べ利用者数:大人10,896人 子ども12,257人 合計23,130人 0歳ひろば(毎週木曜日 12:30～15:00) 50回 延べ 1729組 2歳ひろば(毎週火曜日 10:00～12:30) 51回 延べ1,055組 ふれあいタイム(月・水・金 11:35～11:45) 多胎児支援(ふたごちゃんあつまれ!)(毎月第1土曜日・第3水曜日) 24回 延べ78組 妊婦さんの見学会(毎月第3木曜日)12回 8人 シニアボランティアとの連携 じいじばあばの日(年2回) 利用者参加のおそうじタイム(1回)5組 すくすくデー(てがた成長記録入りのカード制作)(月2回程度) 24回 409組 コンサート・おはなし会などのイベント(4回) 11回 342組 父親の利用を促進する土曜日オープン(24回) 父親利用延べ人数 231人
	(2)相談援助事業 スタッフの日常的な相談 2240件 臨床心理士への相談(25回来所) 小児科医への相談(講座と質疑応答)(1回) 11組 歯科医師への相談 月1回水曜日 ふれあいタイム内でのお話し 11回279組 保健師への相談 ふれあいタイム内でのお話し(2回) 2回33組 栄養士への相談 ふれあいタイム内でのお話し(2回) 2回46組
	(3)情報発信事業 もくばだより発行(毎月)・ホームページの更新(毎月) 館内・館内前掲示板の整備(常時) 子育てに関する情報の収集と発信(館内掲示物等) 絵本・おもちゃなどの紹介
	(4)啓発事業 スタッフ・ボランティアミーティング(第1. 3木曜日午前中) 25回 利用者向け講演会:9/28(金)午前 コラボスクエア 講師:北野真由美氏 66組 心の子育て講演会および講座(講演会1回 講座5回) 94組 タッチセラピー(ねんねのあかちゃんへのマッサージと仲間づくり)(6回) 52組 はあとタッチ(はいはいのあかちゃんへのマッサージと仲間づくり)(6回) 52組 タッチセラピースタッフによるおさらい会(受講者のフォロー)(12回) 77組 ママによるタッチおさらい会など(随時) 104回 延べ487組 食育講座(親子クッキング)(4回)39組 事前打ち合わせ会(4回)38組 父親向け講座「パパと子どもの小さな写真展」(3回連続講座) 13組 貸出:絵本773冊・保護者向け書籍287冊・ビデオ・DVDの貸し出し18本(随時) 避難訓練(1回),不慮の事故の対応研修(1回) 会議出席(キッズプラザ会議2回、子育て支援者会議:4回など)
出張ひろば事業	高屋ひろば 月曜日(月3回程度) 日数:38回 延べ利用者数 大人575人、子ども619人
はあとタッチ事業	はあとタッチコーディネーター養成講座(1回) 4人 松林レディースクリニック出張教室開催 5回 34組 1歳以上のはあとタッチ教室 3回 16組
その他	委員会の出席 東広島市要保護児童対策地域協議会委員 2回 東広島市市民協働のまちづくり指針市民検討委員会委員 広島県西部こども家庭センター管内児童死亡事案検証委員会委員
事業内容	

その他の事業	講師等の派遣	尾道市子育て支援者養成講座(尾道市:6/26) 「親子のつどい」(黒瀬6/19)親子教室(造賀6/20、志和3/5) 黒瀬はあとタッチ教室(6/7) 事例発表:要保護児童対策地域協議会(8/23)、子育て支援者会議(11/8) 元気・やる気・工夫に満ちてる東広島談義 市長と語ろう会 パネリスト派遣(10/14) 市民協働のまちづくり講演会パネリスト(1/24) 郷田小学校PTA研修会 講師派遣(2/20) 東広島市乳幼児健康診査(1歳半)への保育士派遣(毎月1回)
	東広島市市民協働のまちづくり活動	子育て支援先進施設「びーのびーの」「あい・ぼーと」視察 6/29~7/1(8人参加) ふるさと発見!乳幼児親子バスツアー(7/3:大人29人、子ども26人、10/30:大人22人、子ども22人) バスツアー実行委員会(実行委員:6人、会議6回、候補地選定・下見7回、協力団体・企業 9か所)
	その他	NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 リーダー研修参加 7/7~8(1人参加) 広島NPOセンター 発信力強化研修会への参加 1分CMづくり (5回1名参加) 学生総合実習受け入れ(広島大学医学部保健学科看護学専攻) 5名6日間 県政知事懇談「地域の宝チャレンジトーク」(11/17) FMひがしひろしま出演(4/11)、ひろしまFM出演(4/17) 事務局からのメール配信(13回) 会員からのメール配信(約30回) フェイスブック上の交流 賛助会員主体の活動 広島大学でのつどい、バザーの実施、忘年会など 8回 95組 「子育て支援と心理臨床」に寄稿 ミュージック・ケア事業立ち上げ準備教室開催 10回 延べ84組 他団体からのミーティング参加・ひろばでのボランティア受け入れ(尾道:2名)

事業の成果

法人の主軸の活動である「キッズプラザひがしひろしま ゆめもくば」では、ひろばに関わるスタッフが増えました。地域子育て支援拠点事業に求められていることを再確認し、虐待防止の視点をもった支援ができるようにするため、家庭相談員を派遣していただき、利用者と関わる姿勢や対応について学び合う機会を4回もち、スキルアップを図りました。下半期からは元利用者で多胎児の子育て経験者がボランティアとして活動に加わっていただきました。

学生ボランティアの受け入れ経験はあったものの、「総合実習」として、初めて広島大学の学生を受け入れました。学生の視点から拠点事業の意義を再評価、確認する機会となりました。

事業では、初の父親向けの講座を開催することができました。父親が地域でつながることは子育てしやすいまちづくりにもつながるので、よい機会となりました。

祖父母への利用の呼びかけを「じいじばあばの日」としてスタートさせました。異世代交流を意識的に取り組むことをスタートさせたという点では意義が大きいと思います。

祖父母への利用の呼びかけを「じいじばあばの日」としてスタートさせました。異世代交流を意識的に取り組むことをスタートさせたという点では意義が大きいと思います。

前年度までの県の補助金事業廃止に伴い、託児付講演会を継続が危ぶまれましたが、グリーンコープの助成金を活用し実施することができました。

委託事業以外の活動も膨らんできました。高屋への出張ひろばは、NPO法人が持ち出ししながら継続し、「市長と語ろう」という機会や実績報告を通して、必要性を訴えました。賛助会員増加、次年度への予算獲得にもつながり大きな成果が得られました。

市民協働のまちづくり応援補助金を活用して、乳幼児親子バスツアーと先進地視察を実施することができました。バスツアーは支援の輪を地域に広げるきっかけにもなり、次年度事業の「河内西ひろば」開催にその経験を活かせると思われます。先進地視察では東京横浜の4か所のひろばを見学し子育て支援3法改正などの時期と重なったこともタイムリーで多くの学びがありました。ゆめもくばのミッションを再確認し、より支援が必要なところにエネルギーを注いでいこうと考えています。

法人のオリジナルプログラムである「はあとタッチ事業」では、支援者養成を目的に「はあとタッチコーディネーター養成講座」を実施しました。産婦人科での出張教室に加え、1歳以上の「はあとタッチ教室」を実験的に開催し、次年度へつなげました。

ミュージック・ケア事業の立ち上げに向けて、研修や実践を重ねました。NPO法人としての支援メニューが「はあとタッチ」と共に充実していくことが期待されています。

団体の課題であった発信力強化にも取り組みました。特に右脳に訴える1分CMは県のホームページやYouTubeでも公開し反響をいただきました。

利用者出身のボランティアの活動がふくらんで新たな企画がどんどん生まれました。会員も急激に増え、広島大学でのつどい、忘年会などで会員同士が交流する機会が増えました。興味関心で人がつながり、サークルの立ち上げもありました。とりわけ団体を支援する目的で初めてバザーを開催していただいたことはありがたいことでした。子育て当事者の力も引き出され多くの人に団体の活動に興味を持っていただくことができました。多額の寄付金をいただき、今後の活動への力もいただきました。